

令和5年度 足立区立入谷南中学校学校経営グランドデザイン

東京都教育大綱
東京の輝く未来を創造する教育の実現に向けて

足立区教育大綱
「夢や希望を信じて生き抜く人づくり」

本校の教育目標

自ら学ぶ人 豊かな心を持つ人 すこやかに生きる人

<知>

確かな学力・生きる力を身に付けることができる。

<徳>

互いの良さ等を認め合い励まし合うことができる。

<体>

たくましく健康な体を育て、すこやかに生きることができる。

<学校経営の重点取り組み目標>

- 学力の向上と確実な定着（学力向上アクションプラン）
- 生徒の豊かな心を育む（強く・優しく・たくましく・しなやかに）
- 小中連携・保護者や地域・外部との連携の深化

☆学力の向上と確実な定着☆

- <意欲的に学習に取り組み、将来の自分の進路は自らの力で切り拓く>
- 授業改善の推進（ICT機器活用推進、指導方法の工夫・改善）
（足立スタンダード定着・教科専門指導員連携・区調査・国調査等の分析・活用）
 - 朝学習（朝読書・各種コンテスト対策等）
 - 補充教室（放課後、定期考査前）
 - スペリング・漢字・計算コンテストを生かした取り組み
 - サマースクール（夏期休業開始から七日間で集中）
 - 英検・数検・漢検等検定取得の推進
 - 家庭学習ノートを活用した家庭学習の確実な定着化
 - ・ 学ぶ意欲の喚起、読書の活用（朝読書・読書月間等）
 - ・ 家庭学習の習慣化、補充学習の活用、各種コンテスト・各種検定取得推進
 - ・ 自ら進んで自らの課題を解決していくことができる生徒の育成
 - ・ ICT機器の活用を基本とし、生徒のわかりにくさに寄り添う

目指す生徒像

<入谷南中生でよかった>

- 1 主体的・意欲的に学習に取り組み、確かな学力・生きる力を身に付けた生徒。
- 2 基本的な生活習慣を身に付け、健康で規律正しい生活を送れる生徒。
- 3 自己を生かし、何事にも希望をもってねばり強くやり抜く生徒。
(ポジティブ・シンキング)
- 4 いじめを許さず、互いの良さ等を認め合い励まし合うことができる心豊かな生徒。

目指す学校像

<入谷南中に通わせてよかった>

- 1 地域の小学校との連携、学力の伸長と定着、豊かな心を育み、社会人としての基礎を作り上げることのできる学校。
- 2 生徒の成長や変容を通して、保護者や地域に信頼される学校。
「保護者が安心して子どもを学校に任せられる。」

目指す教師像

<入谷南中に勤務できてよかった>

- 1 生徒に対する愛情に溢れ、温かく、厳しく、生徒を指導・成長させる教師。
- 2 常に自らを高めようとする意識をもち、謙虚に努力を重ねる教師。
- 3 理想の学校づくりに向けて協働して取り組むことに喜びを感じる教師。
「見落とさない、見過ごさない、見放さない」

どんな状況でも「将来に夢や希望をもち、その夢や希望に向かって自分を鍛え、成長させ、自信を持ち将来をたくましく生きていける入谷南中生」

◆社会・地域に開かれた教育課程◆

<地域に根ざした入谷南中>

- ・ 入谷南中学校開かれた学校づくり協議会との連携
- ・ 入谷南中学校 PTA との連携・協働
- ・ 地域の人材の有効活用

- ☆ 入谷南中の卒業生は地元に戻り、貢献できる
- ☆ 入谷南中は地域の中核

◆人権と生命尊重の精神の醸成◆

<いじめ・差別・偏見のない入谷南中>

- 自他の生命を大切にする。
- 自己肯定感・自尊感情を高める。
- 他者との協働を大切にする。
- 特別支援教育と支援体制の充実。
- LGBT 理解の推進。
- 様々な偏見・いじめを許さない心優しくたくましい人間を目指す。

☆小中連携・保護者や地域・外部との連携の深化☆

<義務教育9年間を見通し、小学校から中学校までの成長過程を共有する連携の推進>

- 教員同士の連携の推進と深化・課題共有
- 教員と児童・生徒、児童・生徒間連携
- 保護者や地域との連携活動の推進

- ・ 小中教科指導連携
- ・ 小学生中学校授業体験
- ・ 小学生中学校部活動体験
- ・ 小学校補充教室支援（夏期休業中）

☆生徒の豊かな心を育む☆

<ポジティブ・シンキングを基本に>

- あいさつはコミュニケーションの基本
- 各種ボランティア活動への積極的な参加
- スポーツ・文化的行事への積極的な参加
- 生徒会・委員会活動の充実
- 体験活動、キャリア教育の推進・充実
- 心の教育、情報モラル教育の充実

- ・ 上級生が正しい手本を示す、学校の理想型の追求
- ・ 生徒自らによる入谷南中の伝統の継承と進化

◆学習指導要領の視点◆

- ・ 何ができるようになるのか（自ら目指す学びの方向性）
- ・ 何を学ぶのか（自ら学びに向かう姿勢）
- ・ どのように学ぶのか（自らの学びを改善・修正）

◆SDG'Sの視点◆

- ・ 「持続可能な開発目標」→「SDG'Sの理念」理解
 - ・ 「持続可能な社会の作り手の育成（あらゆる教育機会）」
- 今後を見据えた学校教育